

人の動き

「おつかれさまでした。」

(転出者及び退職者)
3月31日付
ごしき包括所長兼課長
田中 ひとみ
課長(地域支援担当)
堂垣 春水
総務課主事
米倉 敬司
看護師
前田 千鶴代
支援員
岡山 武史
山下 さみ子
岩田 紀子
村上 綾香
内藤 博美
高田 利子

「よろしくお願いします。」

(転入者等及び新規採用者)
4月1日付

課長(地域支援担当)
梶原 香子(昇進)
ごしき包括課長
生田 修一(あわじ荘より)
総務課主任
西條 忠親(あわじ荘より)

看護師
金谷 啓子(洲本市より)
支援員
影平 照子(新規)
田浦 裕記子(新規)



生田 影平 西條



金谷 田浦

総合センター 行事予定

- 8月2日 地域交流納涼祭
- 9月17日 敬老祝賀会
- 11月頃 さるびあ文化祭
- 11月頃 地域交流セミナー
- 12月頃 オープン研修(口腔ケア)

喫茶ほっとファイブ
第5金曜日は休業します。

お知らせ

平成29年4月よりご来訪者の方に名札をつけていただくことになりました。受付でお渡ししています。ご協力をお願いします。

村上 和明氏の鳴門の渦潮の写真展

平成29年2月8日から3月末まで、展示していただきました。利用者さまからは、「迫力があってすごい」、「どうやって撮ったんやろか」等の声が上がリ、熱心に見ておられました。



職員募集! 急募

高年齢施設で働いてみませんか?
常勤 看護師・支援員
パート 支援員・介護支援専門員・管理栄養士

応相談・短時間でもOK!

☎0799-33-0503

洲本市五色健康福祉総合センター 担当:名倉・西條

施設見学も可能。
お気軽にお問合せ下さい。

編集後記

今年度もはや2ヶ月が過ぎようとしていますが、皆様どのようにお過ごしでしょうか?
私は大学を卒業してから洲本市五色健康福祉総合センターの配属となったので、社会人9年目を迎えます。22歳の青年が30歳を越え、中年に片足を踏み入れていることを考えると「光陰矢のごとし」という思いです。気持ちはフレッシュに今年度もこの第二の故郷淡路島の五色町で頑張りたいと思います。 H・Y

露天風呂でリフレッシュしましょ!

1泊2食 ¥6,730~

浜坂温泉保養荘

〒669-6702 兵庫県美方郡新温泉町浜坂775
(0796)82-3645

つながる “さるびあ” 広がる “笑顔”
あなたらしさのお手伝い



さるびあ

ごあいさつ

洲本市五色健康福祉総合センター長
兼五色・サルビアホール所長
兼ごしき地域包括支援センター所長 辻 敏弘

風薫り、青葉若葉が目鮮やかな、初夏の訪れを感じる好季節となりました。
皆様にはますますご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。
平成29年度を新たな気持ちでスタートして早2ヶ月が経とうとしております。
足下の福祉を取り巻く環境は、超・超高齢化社会を見据え、地域包括ケアシステムの実現に向けて動き始めました。
平成30年の介護報酬改定では、アクティブシニアや要支援の方にこれからも安心して住み慣れた地域で元気に暮らし続けてもらえる事を推奨し、すでに自治体が行う総合事業への移行も始まっております。
当センターとしても、社会情勢によって、また地域の皆様のニーズに応えるべく、変えていくべきサービス内容と、これまで地域の皆様と積み上げてきた歴史在るサービス内容を意識しながら、これからも地域と共に歩み、皆様から信頼され、地域に貢献できるセンターとして、職員一同、より一層努力して参ります。
今年度も、皆様からの変わらぬご指導、ご支援を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。



発行

社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団
洲本市五色健康福祉総合センター
〒656-1331 兵庫県洲本市五色町都志大日707 TEL.(0799)33-0503 FAX.(0799)33-0318
ホームページ: <http://www.hwc.or.jp/sumoto>

題字 高田 澄子様

平成29年度洲本市五色健康福祉総合センター事業体系表

1 利用者本位のサービスの提供

(1) 利用者本位で質の高いサービスの提供
ア 高齢者施設機能の充実

- 改
 - ・高齢福祉サービス制度改革への対応
 - ・個別ケアによる生活の質の向上、生きがいづくりの推進
 - ・地域医療との連携によるターミナルケア(看取り)の実践

イ 利用者の人権と個人の尊厳に配慮したサービスの提供

- 改
 - ・人権の擁護
 - ・サービス評価の計画的実施

ウ 利用者にとって安全で安心なサービスの提供

- 改
 - ・利用者個別支援の実践
 - ・リスクマネジメント体制の推進
- 拡
 - ・防犯体制の強化

(2) 障害者の自立支援と障害者雇用の推進
ア 障害者雇用の推進

- - ・事業団施設における障害者雇用の推進

2 地域で支え合う仕組みづくり

(1) 地域で安全・安心に暮らすことのできるサービスの提供

- 改
 - ・居宅サービス事業等の実施
 - ・認知症対応型グループホーム、認知症対応型デイサービス事業の実施
 - ・地域包括支援センター等の運営

(2) 地域の福祉人材の育成支援

- - ・人材バンク(講師派遣制度)の推進

(3) 地域に開かれた施設運営

- 改
 - ・事業団における「公益活動推進指針」(仮称)の検討
- 拡
 - ・公開セミナー・福祉教育等の実施と地域交流行事等の開催
 - ・地域防災拠点体制の整備
- 新
 - ・日常生活支援総合事業への対応
 - ・事業団広報の推進

3 医療と福祉の連携による事業推進

(1) 医療・福祉の連携事業の実施

- - ・認知症高齢者地域ケアの実践
 - ・セラピスト等専門職員と連携したサービスの提供

(2) リハ医療・福祉に関する専門的情報の発信

- - ・事業団実践・研究活動の活性化

4 人材育成と働きがいのある職場づくり

(1) 人材の確保・育成

- ア 職員確保対策
- イ 自律型組織を担う人材の育成

- 改
 - ・支援員・看護師等確保対策の実施
 - ・組織性・専門性研修等の効果的実施
- 拡
 - ・資格取得の推進
- 新
 - ・介護福祉士実務者研修への対応としての「平成29年度の実務者研修支援」
 - ・介護福祉士実務者研修への対応としての「事業団による実務者研修の実施準備」
- 新
 - ・認知症介護に係る専門人材の育成

(2) 人事・組織マネジメントの強化

- ア 健全な組織運営

- 改
 - ・改正社会福祉法に基づく法人運営の推進
- 拡
 - ・ガバナンスの推進
 - ・監査実施による財務管理、内部統制の強化
 - ・情報公開・情報提供等による事業団経営の透明化
 - ・メンタルヘルス対策の充実
- 新
 - ・職員からの事業等に関する意見聴取の実施
- - ・雇用人事制度改革の検討

イ 雇用人事制度改革の検討

5 経営基盤の安定・強化

(1) 事業推進体制等の強化と財務管理の徹底

- ア 事業推進体制等の強化

- 改
 - ・新経営10か年計画「第3期実施計画」の評価・検証及び新経営10か年計画の総括と更なる経営戦略の策定準備
- 拡
 - ・事業推進体制の強化
- 改
 - ・事業目標管理(課題解決・目標達成のための取組み)の強化
 - ・財務規律の強化

イ 財務規律の強化

(2) 自主経営(事業団立)施設の運営

- ア 事業推進基盤の整備

- 改
 - ・計画的な施設の建替及び大規模改修の実施
 - ・施設のメンテナンスサイクルの充実

イ 事業毎の運営内容の充実等

(3) 指定管理施設の運営と県施策の実践

- 改
 - ・特別養護老人ホーム等の機能の発揮及び居宅サービス等の利用促進
 - ・県との協働による県施策の先導的役割の実践(指定管理の検証)

特別養護老人ホーム 五色・サルビアホール

五色・サルビアホールでは2階に60名、1階(菜の花の里)に20名のご利用者様が生活されています。
 「夢をかなえるプロジェクト」を中心に、ご利用者様の希望に添った外出に取り組んでいます。平成28年度はのべ316名の方の外出が実現しました。その中には地域の行事や祭りに参加されたり、昔からの馴染みの喫茶店に行かれた方もありました。ご家族様のご協力も得て、一緒に外出していただくこともありました。外出先では普段見られない表情を見ることができ、一緒に行く職員への励みにもなっています。
 外出の他にも編み物、折り紙、園芸、家事などそれぞれが得意とされることを生活の中に取り入れ、キャッチフレーズにもある「あなたらしさのお手伝い」ができるよう支援しています。
 日々の生活の中ではセラピー犬の「れん君」の存在も大きく、ご利用者様の、また、職員の癒しとなっています。



五色ホームヘルパーステーション

現在五色ホームヘルパーステーションでは2名のサービス提供責任者と7名のヘルパーでご利用者様が自立した日常生活を営むことができるよう、入浴・排泄・食事などの介護や調理や洗濯、掃除、買い物などの援助を行っています。住み慣れた家で介護を受けて安心して過ごしたいというそれぞれの方のニーズに合わせてお手伝いいたします。

私たちホームヘルパーは、「つながる“きずな” 広がる“笑顔” あなたらしさのお手伝い」をモットーに、ご利用者様、ご家族様とのつながりを大切に、その人らしく生活できるようにサポートいたします。



都志カフェ いっぷく



今年度第1回目のミニ講座は「春・はるコンサート」を開催しました。
 ボランティアの方によるギターとキーボード演奏に合わせて、懐かしの歌謡曲や童謡などを口ずさみ、みなさん楽しめました。
 水曜日のほんのひととき、お茶を飲みながら、「いっぷく」しませんか。

- ミニ講座** 今後の予定(14:00~15:00頃)
- 6月21日(水) 『コミュニケーション・マーチャン』
洲本市社会福祉協議会 玉井 三知代氏
 - 7月26日(水) 『転倒予防 第3弾』
洲本市健康福祉部健康増進課
理学療法士 榎本貴文氏